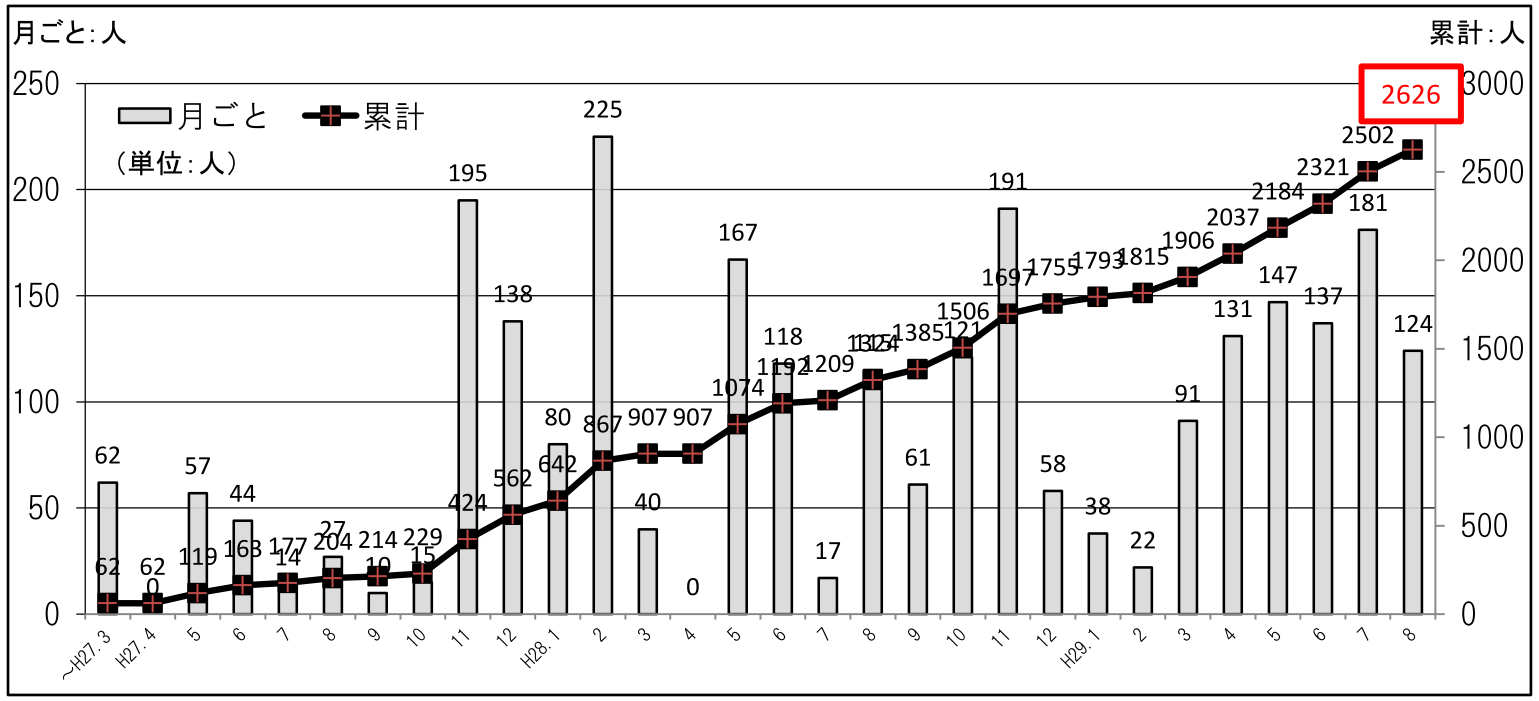
ダム見学者２６００名

錦川総合開発事務所及び平瀬ダム建設工事共同企業体事務所では、ダムへの理解を深めてもらうために、本体工事着工後（平成27年2月）からダム建設現場の見学会を行っています。平成29年８月末時点で約2600名の方が現場見学に来られています。平成27年はダム堤体施工位置の掘削中のため、掘削に使用する44tブルドーザーや土砂運搬に使用する30tダンプトラックなどの巨大な建設機械や基礎となる岩盤を見ることが出来ました。平成28年2月からはダム堤体のコンクリート打設を開始したため、現在はコンクリートの製造設備やケーブルクレーンによるコンクリート打設などを見ることができるようになっています。（下のグラフは見学者数の推移）

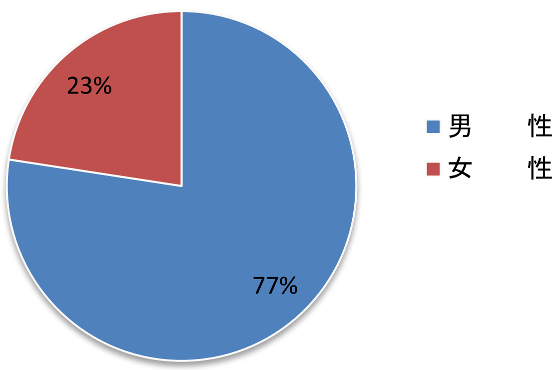


ダムカード配布の状況

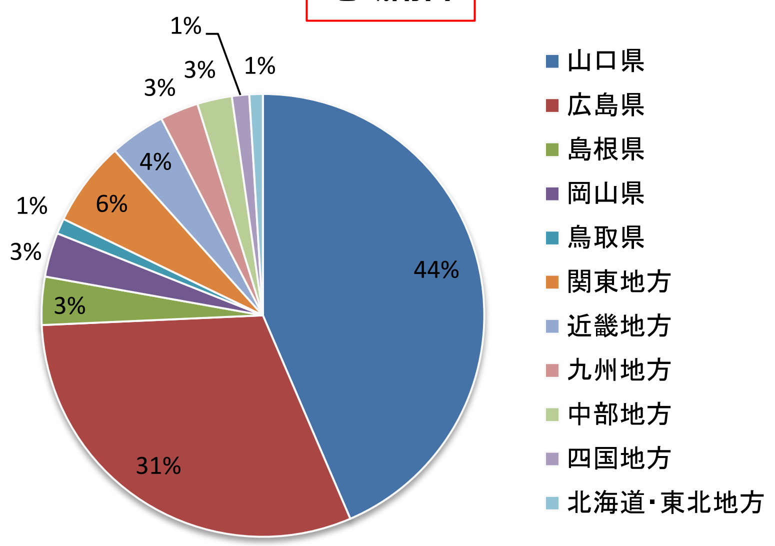
当事務所では、平成28年9月から来訪者に建設中のダムカードを配布しています。全国から幅広い年齢の方が、平成29年8月までに1000人以上来訪されています。（グラフは来訪者の内訳）

錦川総合開発事務所及び平瀬ダム建設工事共同企業体事務所にて、土、日、祝日および12/29～1/3を除く9時から17時まで配布しています。

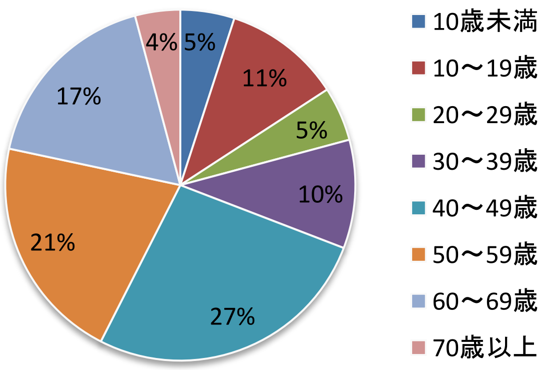
男女割合



地域割合



年齢割合



発行／山口県錦川総合開発事務所
〒740-0724　岩国市錦町広瀬780番地
℡0827-72-3744　Fax0827-72-3746
E-mail：a18137@pref.yamaguchi.lg.jp

最新情報はホームページで。
パソコンで　平瀬ダム　検索

錦川だより
News from Nishiki River
錦川総合開発事務所
2017.9.27
September
第33号

平瀬ダム 進捗率5割到達！

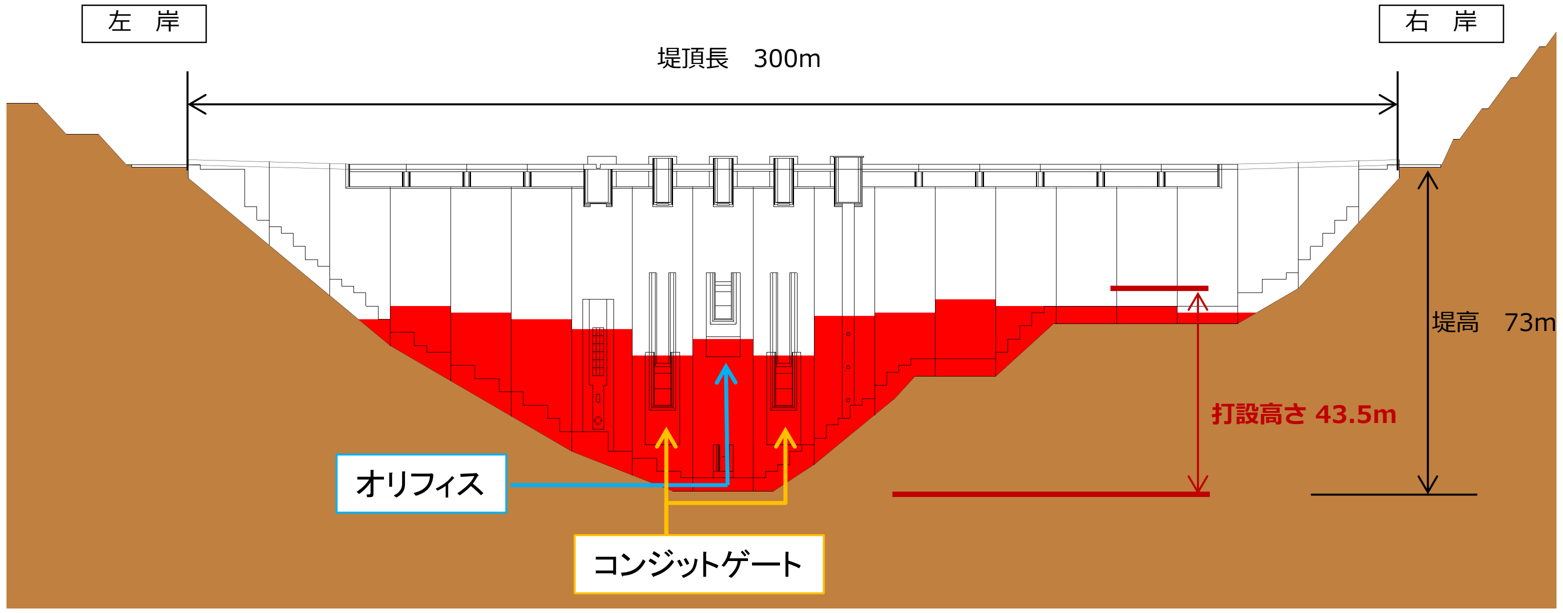
上写真：右岸下流側より
下写真：右岸展望台より(H29.7)

堤体コンクリート打設状況（平成２９年8月末現在）

平瀬ダム建設工事のコンクリート打設量が平成２９年８月末時点で１7万m3（全体約３４万m3）となり、進捗率にして50%に到達しました。

本工事は平成２６年３月に建設工事契約を締結、平成２７年３月から本体位置の掘削を開始、平成２８年２月より堤体コンクリート打設を開始していました。暑中は夜間打設に切り替えながら、約1年半の間、打設を続けています。今年８月には、常用洪水吐（コンジットゲート）の扉体の据付も行っています。

打設高さ　43.5m　打設量　17万m3　進捗率　50%

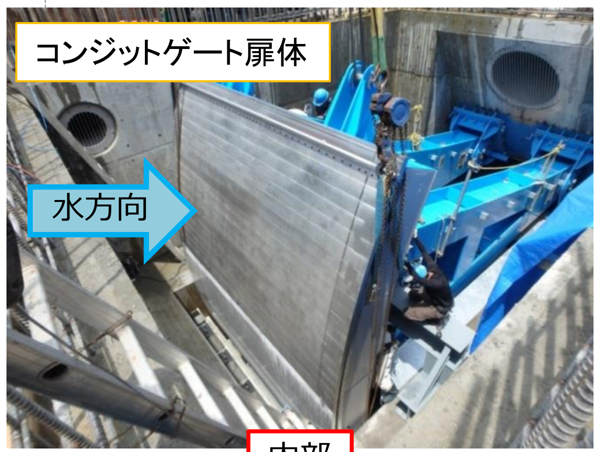


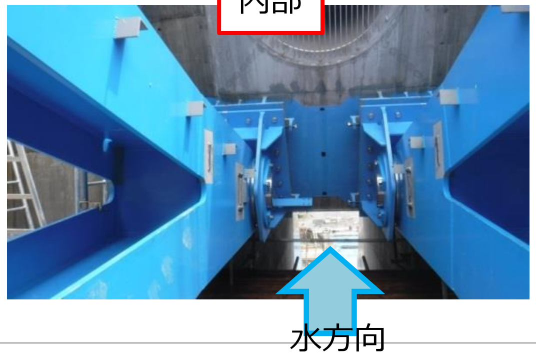
このまま順調にコンクリート打設を続けると、来年秋（平成30年10月頃）に堤体の打設が完了する見込みです。その後、ダム管理設備、付替林道、地すべり対策の工事や湛水試験を実施していく予定です。

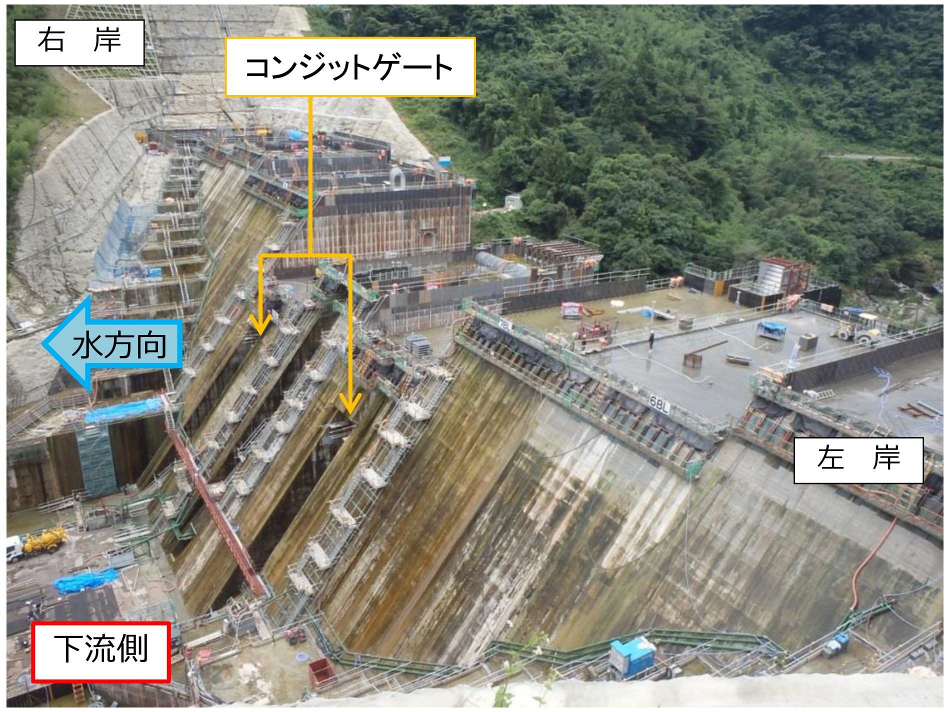
コンジットゲート扉体据付

コンジットゲートの扉体の据付を行いました。工場で製作した脚柱、扉体をケーブルクレーンで運搬し、据付けます。

運用の際、常時はこの扉体は閉じていますが、大雨時にはこれを上下することで水量を調節して錦川に放流します。







夜間打設

夏期は夜間にコンクリート打設を行っています。

コンクリートの打設温度が高いとひび割れが発生するなど、水密性や強度が低下する原因となります。

そのため、平瀬ダム建設工事では打設温度が高くならないように、様々な工夫をしています。

その１つとして、夏期は比較的気温の低い夜間にコンクリート打設をすることで、打設温度が25℃以下になるように管理しています。

夜間打設に際しては、全体照明に指向性の強いLED照明を使用したり、防音シートを設置したりして、近隣に光や音が漏れることが無いように配慮しています。

その他の温度上昇の対策として、コンクリートの材料を貯蔵する骨材ビンを遮光性の高い布で覆ったり、冷却設備によりコンクリートの製造温度を21℃以下に抑えたりしています。

また、打設後もコンクリート表面が乾燥しないように常に散水を行っています。

夜間打設

冷却設備

骨材ビン

散水状況